

2026年度新人看護職員研修

新人看護職員研修運営委員会

4月		卒2研修		
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師
看護基礎研修/ 看護部	(27) (32) (33) (38) (43) (48) (23) (26)	CK2651:挨拶からはじめる 接遇マナー CK2604:電話メールの 基本マナー CK2654:組織の活性化と 職員自身の成長に繋がるコ ミュニケーションの力	看護職員としての自覚を持ち、配属先において看護部職務規定における「助産師」「看護師」として行動するための基礎を身につける	看護部
観察/基礎看護技術 FU	(6) (9) (10) (11) (25)	AA2651:実践!アセス メント力高めるフィジカ ルイグザミネーション	1.対象の観察をフィジカルイグザミネーションで行い、看護アセスメントができる 2.手順に基づいた基本的看護技術を学びなおし、OJTで活用し対象に合わせて実施することができる 3.日常ケアに必要なフィジカルアセスメント能力を高めるための、基本的知識を理解し実践で活用することができる	急性・重症ケア専門看護師 各部署教育担当者
フィジカルアセスメント入門（バイタルサインと全身観察）	(6) (9) (10) (11) (25)	AA2601/2651	1.日常の看護実践に必要なバイタルサインやフィジカルイグザミネーションから情報を得て、対象の病態生理や治療について助言を得ながら統合して観察・ケアに活かすことができる 2.バイタルサイン、フィジカルイグザミネーションから、対象のニーズに基づきケア看護師に報告できる 3.患者の病態・病状から行われている治療を理解し、観察・ケアに活かすことができる（NEW） 救急カートの内容を理解できる	急性・重症看護専門看護師
赤十字原則と看護倫理	(15) (16) (19) (20)	「若葉と読む赤十字基本原則」（図書室）	1.赤十字基本原則を理解し、優先順位を判断する際に活用することができる 2.「看護者の倫理綱領：日本看護協会」の実践が赤十字原則に繋がることに臨床現場で気づくことができる	倫理委員長
看護基礎研修（看護技術を支える要素としての医療安全：感染対策）	(41)	CB2601 他：秋田赤十字病院院内感染対策マニュアル	1.当院の院内感染の基本ルールが分かり、標準予防策を実施することができる 2.手指衛生の5つのタイミングを習得し、臨床実践現場でタイミング行動ができる 3.ポケットブックを携行し、活用しながら医療安全行動が取れる	感染管理認定看護師
看護基礎研修（看護技術を支える要素としての医療安全：医療安全対策）	(41) (42)	CA2601/2602/2699 他：秋田赤十字病院医療安全対策マニュアル	1.当院の医療安全体制を理解し、転倒・転落防止対策を臨床実践現場で活用することができる 2.当院のインシデント・アクシデント報告の基本ルールが分かり、助言を得ながら実施することができる 3.患者の療養環境を整えるための「医療安全対策」を実施できる 4.患者誤認防止策を習得し、臨床実践現場でいかなる場面で実施することができる 5.新人看護職員が取り扱うことのできない薬剤一覧をもとに、臨床実践実践現場でその理由を行動化できる 6.看護基準、手順に基づき正しい与薬が対象に合わせて実施できる	医療安全管理者 看護部医療安全委員長 ：各部署医療安全リンクナース ※ 観察評価し、後日報告書を提出
フィジカルアセスメント入門（褥瘡予防対策・スキンテア予防技術）		AA2656 AB2602	1.対象の皮膚を観察し、褥瘡アセスメントを助言を得ながら実施できる 2.対象に合わせた褥瘡予防ケアが助言を得ながら実施できる 3.スキンテア予防、テープ類の正しい取り扱いと患者へ及ぼす影響を理解したうえで観察ができる	皮膚排泄ケア認定看護師 特定行為研修修了者
赤十字看護基礎編	(1) (2) (3) (4) (5) (41)	秋田赤十字病院BCP 災害対策マニュアル 部署BCP/災害対策マニュアル	1.災害対策マニュアルの発生時の初期行動が分かり、「自分の安全確保」「患者の安全確保」「職場の安全確保」をリーダースタッフ指示の下行動できる 2.災害発生時の自主参集基準を理解し、参集する際に携行する防災用品を確保、準備しておくことができる 3.部署の避難経路を把握し、避難用具を用いた避難行動を指示に基づいて実施できる	看護部災害対策チーム
ナラティブ発表会	(23) (24) (25) (26)	AA2608	1年間の看護実践現場において心に残っている場面を3段階法で振り返り「大切にしたい看護」を概念化する	
看護過程研修	(7) (9) (10) (18) (21) ※レベルⅠ認定済みのものは (59) (60) (69)		受け持ち患者の看護過程を「身体的」「精神的」「社会的」「スピリチュアル」な側面から展開し、チームメンバーと共有し、看護実践が途切れないよう看護計画が修正できる ※研修日前日までに学研を視聴、受け持ち患者の関連図を教育担当者へ提出すること	各部署教育担当者
フォローアップ研修	(43) (44) (45)	AA2608/2606	「自己教育における課題に気づき」1年間の計画を各部署看護目標から立案・実施・評価ができる	※個人BSC等で計画する
看護理論		グローバルセミナーコース (各10分)	ステップ1：看護実践を看護理論から紐解き看護とは何かを導く ステップ2：4/4に展開した看護過程を看護理論から概念化し、レポートにまとめる手法を習得する	新人看護職員運営委員会師長

5月				
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師
赤十字救急員 基礎講習 赤十字救急員講習 NEW	(1) (2) (3) (4) (5)		新採用職員参加研修 各自 秋田県支部赤十字救急員基礎研修、赤十字救急員講習へ申し込むこと	赤十字救急員指導員
看護基礎研修/診療 録としての看護記録	(36)	AA2663：はじめに押さ えておきたい看護記録の心得	1.診療録における看護記録の持つ意味を理解し、助言を得ながら看護記録ができる 2.看護実践と看護記録の関連が分かり、助言を得ながら適切に記載できる 3.受け持ち患者の看護過程について助言を得ながら記録することができる	記録委員長
学びなおし 無菌操作 NEW		AB2656	1.清潔操作の目的を知る 2.清潔操作を行う場面を理解する 3.演習を通して、無菌操作、清潔操作の手順や技術を理解する	手術看護認定看護師 /教育担当者
看護過程研修① FU復習 NEW	(6)～(26) (44) (45)		1.患者から情報を得て情報を電子カルテに入力できる 2.関連図を通して受け持ち患者の全体像をとらえることができる 3.助言を得て、看護過程に反映できる	部署記録委員/教育担当者
フィジカルアセスメントFU（認知症・せん妄ケア）	(10) (11) (18) (19) (21) ※レベルⅠ認定済みのものは (64) (66) (67) (68)	BDA2601/2602/2603/2604	1.認知症・せん妄ケアの基本的知識を復習し、パーソンセンタードケアの概念が分かる 2.助言を得ながら不穏やADL低下を防ぐケアについて計画立案、実践、評価ができる	認知症ケア認定看護師
フィジカルアセスメント入門（摂食・嚥下支援技術FU）		AA2664	1.対象の口腔機能を観察し、 口腔・嚥下評価が分かる 対象に合わせた 口腔内の清浄を保つことができる 2.摂食嚥下のメカニズムが分かり、対象に合わせた食事介助が実施できる 3.演習を通して、 研修で習得した知識を想起し、助言を得ながら対象の口腔機能をアセスメントした上で実施できる	摂食えん下看護認定看護師 /各部署教育担当者
フィジカルアセスメント入門（呼吸・循環を整える技術FU）		AB2601AA2601	1.対象に合わせた気道・呼吸ケア、体位ドレナージが実施できる 2.酸素療法の目的を理解したうえで、指示に基づいて看護基準に沿った実践ができる（酸素マスク、カヌー、リザーバー）	各部署教育担当者
医療安全対策FU	(41) (42) ※レベルⅠ認定済みのものは (85) (86)	AA2604：転倒転落予防から考える患者安全 秋田赤十字病院 医療安全対策マニュアル	1.患者の療養環境を整えるための「医療安全対策」を実施できる 2.転倒転落アセスメントを行い、個性のある看護計画立案・実施・評価ができる 3.部署の転倒・転落のインシデント報告内容を自身で分析し行動を変化することができる	各部署医療安全リンクナース
フィジカルアセスメントFU（認知症・せん妄ケア） 事例検討	(10) (11) (18) (19) (21) ※レベルⅠ認定済みのものは (64) (66) (67) (68)	BDA2601/2602/2603/2604	1.事例から、認知症・せん妄ケアの基本的知識を復習し、パーソンセンタードケアの概念に基づく自らの看護実践に反映する 2.各部署での取り組みを発表会を通して共有し、学びほぐしを行い自らの看護実践に活かすことができる	演習支援（ラウンド） 認知症ケア認定看護師 各部署実地指導者 教育担当者

6月				
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師
メンタルヘルス研修 /	(34)	CK2656	1.当院のメンタルヘルス対策が分かる 2.セルフケア、ラインケアが分かり、セルフケアの方法を見つけ実施できる 3.困っている同僚に気づき、抱え込まない対応ができる	看護部教育責任者
「報連相」を知ろう NEW	(31)～(35)	ALA2655	1.「報告」「連絡」「相談」の言葉の意味を知る 2.報告連絡相談を行う目的を知る 3.ロールプレイを通して報告連絡相談をする側、される側の立場を理解し、実践につなげる	教育師長 教育担当者
地域看護 （退院支援）FU	(37) (38) (39) (40)	FHG2651	1.患者の退院後の生活を見据えた看護師としての関りを振り返る 2.地域で暮らすために必要な情報が分かる 3.患者が退院したその日から生活が営むための社会資源が分かる（事例） 4.医療保険、介護保険の仕組みが分かり患者の退院後の受診行動が予測できる	退院支援カンファレンスに事例を提案し、カンファレンスを実施
ピアサポート メンタルヘルス	(34) (79)	CK2656	1.互いに成長を認め合い、同期同士の支援を構築できる 2.セルフケアを振り返り、こころの健康を保つための自己の取り組みを再構築できる	教育責任者 公認心理師

7月				
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師
与薬の技術1（基礎知識：保助看法・倫理綱領）	(6) (25)	AA2657:デキる新人になるための薬物管理の基本 秋田赤十字病院看護部「静脈注射テキスト」	1.薬効、薬理作用を理解した上で、投与経路の違いに伴う薬物の作用副作用を観察、実施、報告ができる 2.解剖学に基づき、対象に合わせて安全な注射技術を行い、その後の合併症の観察、記録、報告ができる	薬剤部長 教育部長
感染対策FU研修	(41)	CB2601 他：秋田赤十字病院院内感染対策マニュアル	1.当院の院内感染の基本ルールが分かり、標準予防策を実施することができる 2.手指衛生の5つのタイミングを習得し、臨床実践場面でタイミング行動ができる	看護部感染対策リンクナース ※観察評価
フィジカルアセスメントFU（症状・生体機能技術：採血・血糖測定・検体の取り扱い・パニック値の報告）	(6) (18) (21) (22)	MV08000-d/AA2660	1.静脈血採血手順を習得し検体の取り扱いと検査結果反映までの院内のシステムが分かる 2.血糖測定の手順を習得し、低血糖・高血糖時の反応が分かり、ベア看護師に報告し対処行動がとれる 3.観察に活かす検査値の見方を習得する 4.パニック値となった場合の報告を医師へトSBARCで報告できる	各部署教育担当者または プリセプター
急変時の対応（RRS/スタートコール）	(12) (14)	AA2662	1.当院のRRS/スタートコールの基準・手順がわかる 2.演習を通じてRRS/スタートコールの実践を理解する 3.院内の急変時対応を実践に活かす	RRT/RRTメンバー
看護理論 ステップ2		グローバルセミナーコース (各10分)	ステップ2：事例検討をレポートにまとめる手法を習得する	教育担当部長

9～10月				
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師
看護過程研修②	(6)～(26) (44) (45)		1.対象に合わせた看護過程を助言を得ながら展開できる 2.ベア看護師の助言を得ながら、患者の反応や自分の行為を振り返り、課題に気づき、対処行動が取れる 3.実施した看護を看護記録記載基準に準じて記載できる ※研修日1週間前までに受け持ち患者の関連図を教育担当者へ提出する	記録委員長/各部署記録委員
多重課題適応研修	(33) (34) (35) (37) (38)	AA2654：多重課題の波を乗りこなせ AA2667:新人看護師の1日 AA2666:夜勤一人立ちへの心構え	1.担当患者数名の看護実践を遂行するための優先順位を助言を得ながら決定できる 2.多重課題解決シートを活用し、助言を得ながら業務の組み立てができる 3.複数の多重課題解決における自己の課題に誠実に取り組み、修正できる ※本研修への取り組みにより、日勤・夜勤の自立判断となる ※業務の自立判断は部署管理者が決定する	各部署教育担当者/ 実地指導者
フィジカルアセスメント演習（全身観察評価）	(6) (12) (14)	AA2552：新人看護師のあなたが押さえておきたい臨床判断能力	1.担当患者の「身体情報」を呼吸器系、循環系、栄養、消化系、感覚系、中枢神経系、運動系から助言を得ながら収集できる 2.担当患者の「普段と違う」気づきをベア看護師に報告し、助言を得ながら対処行動ができる	急性・重症看護専門看護師
急変時の対応演習（正常な心電図波形と危険な波形）（急変時の初動対応）	(12) (14)	AA2662：初めての急変対応	1.急変とは何かが説明できる 2.急変を見逃さないための観察のポイントが説明できる 3.急変時の心構えと先輩看護師との情報共有のポイントが説明できる 4.担当患者が「普段の様子と違う」ことに気づいた場合の初動対応が実施できる	救急外来部長 迅速対応チームリーダー
注射の基本その1（皮内、皮下、筋肉内注射、採血）	(6) (25)	AA2661	1.薬効、薬理作用を理解した上で、投与経路の違いに伴う薬物の作用副作用を観察、実施、報告ができる 2.解剖学に基づき、対象に合わせて安全な注射技術を行い、その後の合併症の観察、記録、報告ができる 腎部演習？	各部署教育担当者または プリセプター
注射の基本その2（静脈注射：留置針、輸液ポンプ、シリッジポンプの管理）	(6) (25)	AA2661/2660	秋田赤十字病院看護部静脈注射教育計画に準じる ※静脈注射実施基準【レベル1】 【レベル2薬剤投与時の生食ロック・ヘパリンロックまで】 【レベル3末梢留置針の挿入まで】 ※看護師には緊急時の末梢からの血管確保が求められるため	各部署教育担当者
排泄援助技術演習（浣腸・摘便、尿道留置カテーテル）	(18) (19) (20) (21) (22)	AA2602：無菌操作に強くなろう！安全と患者心理に配慮した膀胱留置カテーテルの挿入 当院医療安全研修会資料	1.医療安全基準、看護基準・手順に基づいた正しい手技を獲得し、助言を得ながら実践できる 2.尿道損傷の発生機序が分かり、説明できる 3.直腸粘膜損傷の発生機序が分かり、説明できる 4.患者へ侵襲のある技術を提供する場合の判断を述べるができる	各部署教育担当者または プリセプター
医療安全対策FU	(41) (42) ※レベルⅠ認定済みのものは (85) (86)	AA2657：デキる新人になるための薬物管理の基本	与薬（内服）に関する医療安全基準、看護基準手順に基づいた技術が場面を問わず実践している	各部署医療安全リンクナース
グローバルヘルス入門	(50) (51) (52)	講師より指定 厚生労働省人口動態 統計	1.国内外の保健、医療、看護、福祉の動向に関心を持つことができる 2.当院に受診する外国人などの特性と健康問題を知り、入院場面での看護上の課題に気づくことができる	新人看護職員研修運営委員長
看護倫理FU/	(15) (16) (19) (20)	倫理委員会より指定	1.赤十字基本原則を理解し、優先順位を判断する際に活用することができる 2.「看護者の倫理綱領：日本看護協会」の実践が赤十字原則に繋がることに臨床場面で気づくことができる 3.臨床場面での倫理上の問題に気づき、カンファレンスに提示することができる	各部署部署倫理委員
感染対策FU研修 NEW	(41)	CB2601 他：秋田赤十字病院院内感染対策マニュアル	1.当院の院内感染の基本ルールが分かり、標準予防策を実施することができる 2.手指衛生の5つのタイミングを習得し、臨床実践場面でタイミング行動ができる	看護部感染対策リンクナース ※観察評価

11月				
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師
看護倫理FU	(15) (16) (19) (20)	倫理委員会より指定	1.臨床場面での倫理上の問題に気づき、カンファレンスに提示することができる	各部署部署倫理委員
看取りのケア	(11) (14) (17)	AA2603	1.患者がご逝去された場合のケアをベア看護師と協働できる 2.ご遺族の気持ちを推しはかり、看護職としての対応をベア看護師から習得できる ※学研ビジュアルナースィングメソッド「死亡時のケア」に基づき、部署の特徴を捉えた演習	緩和ケア認定看護師 OJT教育担当者
地域看護	(37) (38) (39) (40)	FHG2651/2652/2653	1.患者の退院後の生活を見据えた看護師としての関りを振り返る 2.地域で暮らすために必要な情報が分かる 3.患者が退院したその日から生活が営むための社会資源が分かる 4.医療保険、介護保険の仕組みが分かり患者の退院後の受診行動が予測できる	在宅ケア特定認定看護師 MSW

12月～3月				
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師
看護職としてのキャリア	(43) (44) (45)	AA2606/2608	1.赤十字施設ラダーシステムを想起し、自身の目標を立案できる 2.3段階法による「看護観」概念化し、進みたい道を思い描くことができる 3.1年後、5年後、10年後の目標を立て、そこまでに必要な項目を列挙できる	教育責任者
正しいME機器の取り扱いとトラブルシューティング (人工呼吸器、ASV、NHF)	(6) (9) (10) (11) (26) ※レベルⅠ認定済みのものは (59) (63)	AA2659	1.正しい機器類の取り扱いを習得し、OJTで担当患者の看護実践に活かすことができる 2.機器類の作動状況を管理し、異常発見時の対応がOJTでできる	臨床工学技士
静脈注射レベル3予習研修		AA2660	秋田赤十字病院看護部静脈注射教育計画に準じる 1.輸血療法が必要な場合の手順が説明できる 2.劇毒物の取り扱い方法が説明できる 3.麻薬の取り扱いが説明できる ※本研修受講し、翌年度静脈注射レベル3研修受講が必須	各部署教育担当者
看護の振り返り研修 【ナラティブ発表準備】		GT2654/2655	1年間の看護観を概念化し、2年目の自分の目標を設定できる	教師師長
令和7年度教育担当者振り返り研修		ALB2401/ALB2453 ALB2303	1.部門における教育体制を理解し、新人看護職員研修ガイドラインを活用した行動ができる 2.部署における教育上の課題を持ち、部署新人教育上のPDCAサイクルを回すことができる	教育責任者
令和8年度教育担当者研修		ALB2401/ALB2453 ALB2303	1.部門における教育体制を理解し、新人看護職員研修ガイドラインを活用した行動ができる 2.部署における教育上の課題を持ち、部署新人教育上のPDCAサイクルを回すことができる	教育責任者
令和7年度プリセプター研修 (実地指導者が参加しても良い)	(92) (93) (94)	ALA2351/2452/2453	1.新人看護職員教育ガイドラインから、プリセプターの役割・求められる行動・態度を理解し実践できる 2.教育技法を学び、実践できる	教育責任者

必須			
部署別学習会への参加			1. 部署に代表的な疾患、病態生理、看護の特徴は受け持ち患者の関連図作成時に実地指導者（レベルⅡ以上）のスタッフから助言をもらいながら作成、看護過程を展開することで1回参加とする ※後日教育担当者が報告書を提出 2. 部署の看護の特徴において薬剤管理及び薬効薬理作用を含めた知識を習得し、実践に活かすことをねらいとした学習会を教育担当者が企画・運営・報告をする 講師：部署担当薬剤師 NEW

臨床看護実践実践力を積み重ねる
ための概念図

